

令和 6 年 度

2024年 4月 1日から
2025年 3月31日まで

事業報告書

大阪府中央区上町A番7号

公益財団法人 大槻能楽堂

令和6年度事業報告

I 事業の状況

当能楽堂は、ユネスコ無形文化遺産である我が国の舞台芸術「能楽」を広く一般に公開し、伝統芸能の振興及び文化・芸術の普及に寄与するため、当法人が企画した公演等上演し、また、所有する能舞台等を貸与する活動を行っています。

本年度実施した事業内容は以下のとおりです。

1. 伝統芸能「能楽」の振興と普及のため、自主公演能等を上演し、広く国民一般への理解に資する事業

(1) 自主公演能事業

能の魅力を探るシリーズ（全7公演）

自主公演能の柱となる「能の魅力を探るシリーズ」では、テーマに沿った能を一流の演者で企画し、お話や対談をセットにする形を基本とし、数公演に狂言を組み込み実施いたしております。

本年は、対談を令和5年度から「大槻文蔵と読み解く能の世界」をテーマとして引き続き実施いたしました。大槻文蔵が話の引出役になり、講師の先生にお尋ねする形で、能を作成する様々な要素、要因を各方面から探る形で実施し、これまで以上に能の魅力を引き出し、より深く知っていただきました。

能の上演は、基本ながら全国の能楽を代表する演者を配し上演致しました。

このように、様々な角度から能の魅力を提供し、新しいお客様から能楽愛好者の方まで、幅広いお客様に楽しんでいただける公演として、能楽の普及活動に寄与する企画として開催いたしました。

開催日	内容	出演者
2024年4月20日	対談「古作の能」	松岡心平 大槻文蔵
	能「柏崎」	上野雄三
2024年6月15日	対談「観阿弥」	山中玲子 大槻文蔵
	能 古演出「自然居士」	大槻裕一

2024 年 8 月 17 日	対談「世阿弥」	小田幸子 大槻文蔵
	狂言「 蝸牛 」	善竹彌五郎
	能 「 恋重荷 」	赤松禎友
2024 年 12 月 21 日	対談「 観世元雅 」	村上湛 大槻文蔵
	能 「 朝長 」	浦田保親
2025 年 1 月 25 日	対談「 作者不明の名曲 」	三浦裕子 大槻文蔵
	能 「 藤戸 」	武富康之
2025 年 2 月 15 日	対談「 金春禅竹 」	天野文雄 大槻文蔵
	狂言「 眞奪 」	善竹忠亮
	能 「 杜若 恋之舞 」	赤松禎友
2025 年 3 月 15 日	対談「 観世小次郎信光 」	高桑いづみ 大槻文蔵
	狂言「 文蔵 」	野村萬斎
	能 「 船弁慶 重前後之替 早装束 舟唄」	観世喜正

企画公演 新作・復曲再演の会（全 1 公演）

能は 700 年近い歴史の間に、約 2000 曲以上の作品が創られてきましたが、現在常に上演可能な曲の多くは室町時代に創られた約 250 曲です。それを現行曲と言い、その他の作品を廃曲と言います。この廃曲を復活上演することを復曲といい、新しく書き下ろした曲は新作能と言います。復曲も、新作もその後の再演がとても大事なことで、本公演は、その大事な再演の役目を担った公演です。

本年は、復曲能「吉野静」を 10 年ぶりに上演し、復曲狂言「連尺」を復曲されてから 8 年ぶり(初の再演)に上演致しました。

この公演を通して、再演を重ね検討することが作品を継承し、伝統であり続けること、内容を深めていくことの重要性が伝わる企画として開催いたしました。

開催日	演目	出演者
2024 年 5 月 18 日	お話「 再演を重ねた魅力 」	石淵文恵
	復曲狂言「 連尺 」	野村又三郎
	復曲能 「 吉野静 前入 」	上田拓司

特別公演 ナイトシアター ろうそく能（全1公演）

毎年恒例のろうそくに火がともされた空間で能を鑑賞いただく人気公演です。能と他芸能ジャンルとの共演を実施する公演で開催し、新しいお客様に改めて能の魅力を知っていただき、今後の観客拡大を図る企画です。

本年は、山岳信仰にスポットをあて、総本山金峯山寺管領 五條良知氏をお迎えし、金峯山寺山伏衆による御法楽、「山岳信仰と能」と題して大槻文蔵との対談も組み入れ、そして山伏の登場する能「谷行」を 役行者 役が出る古い形式にて上演いたしました。

初めて能をご覧になるお客様、大槻能楽堂に訪れるお客様も多く、また山岳信仰の世界に触れる機会を創出するなど、観客拡大につながる意欲的な公演として開催いたしました。

開催日	内容	出演者
2024 年 7 月 12 日	ナビゲータ	桂吉坊
	金峯山寺山伏衆による御法楽	五條良知
	対談「山岳信仰と能」	五條良知 大槻文蔵
	能 「谷行」	梅若紀彰 梅若猶義

特別公演 大槻能楽堂 創立九十周年記念公演（全3公演）

大槻能楽堂は多くの皆さまの御支援を賜り、昭和 10 年(1935 年)9 月 15 日に舞台披きを致し、9 月 15 日に創立 90 年を迎えます。

昭和 10 年からこの能舞台では、名演者による数々の名舞台が演じられてきました。今後もこの能舞台で素晴らしい演能が演じられていき、世界に類を見ない貴重な演劇、世界無形文化遺産・能楽の継承に寄与するべく、90 年節目の日から 3 か月にわたり、月 1 回の記念公演を開催いたしました。

これまでの演能実績に伴うよう、全国から流派を超え、その当時の当代を代表する演者を招聘してきた大槻能楽堂だからできる配役と曲目、東西の人名名手に交え、中堅気鋭の能楽師の競演をご覧いただきました。

今後も大阪、上町台地の地で、高い芸術水準にて能楽界を牽引し、能楽堂としての意気込みを示す公演として開催いたしました。

開催日	内容	シテ
2024 年 9 月 15 日	狂言「萩大名」	茂山七五三
	能「大原御幸」	観世清和
2024 年 10 月 27 日	狂言「栗田口」	野村万作
	能「屋島 弓流 奈須興市語」	大槻文蔵 野村萬斎

2024 年 11 月 30 日	狂言「 呂 蓮 」	三宅右近
	能 「 井 筒 」	友枝昭世

新春能（全 2 公演）

例年 1 月 3 日と 4 日に行われる新春能。全国の能楽界を代表する名人が一举に集い、新年を迎える目出度さを祝う二日間連続公演です。

二日間連続、天下泰平五穀豊穰、初春の喜びを願う祝言曲の「翁」と、新春にふさわしい演目にて、日本文化も伝承する貴重な公演企画として、本年も、東西の名人名手、中堅気鋭の能楽師の競演をご覧いただき、日本の伝統芸能だけでなく、日本の文化も再認識していただける公演として開催いたしました。

開催日		シテ
2025 年 1 月 3 日	「 翁 」	観世淳夫 茂山逸平
	狂言「 松 櫟 」	茂山千五郎
	能 「 春日龍神 龍女之舞 」	浅井文義
2025 年 1 月 4 日	「 翁 」	大槻文藏 野村裕基
	狂言「 酢 薑 」	野村万作 野村萬斎
	能 「 二人静 立出之一声 」	観世鍔之丞 片山九郎右衛門

※集客強化について

・事前講座

新規観客の獲得を目指し、月イチ能楽講座 in 大槻能楽堂（主催：大槻裕一氏・成田奏氏）で自主公演の演目を月ごとのテーマとしていただき、協力として実施いたしました。

・当日演目の音声ガイド(日英)

新規観客の獲得、インバウンド需要を強化するため、公演当日、開演前や休憩中に音声ガイド(日英)にて、簡単な演目解説の提供を実施いたしました。

(2) 学生鑑賞能事業

学生を対象に能楽鑑賞のほか、ワークショップなどを併せ、本年度は年間 9 回実施いたしました。

(大学 1 校・高校 5 校・中学校 2 校、小学校 1 校)

(3) 委託公演能事業

1、有馬能楽堂 能・狂言公演

有馬能楽堂で催す恒例の公演を下記の通り計2公演を請負い開催いたしました。

7月25日(木) 狂言「磁石」高野和憲 狂言「水掛罨」野村萬斎

10月5日(土) 能「千手」大槻文藏、大槻裕一

2、文化庁「文化芸術による子供育成推進事業 舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)」

子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成を図り、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的とした事業に、本年度も文化庁より採択いただき、事前にワークショップを行い、本公演は能「土蜘蛛」を上演し、合計4校にて実施いたしました。

3、その他、下記公演等を受託開催いたしました。

・鵜戸神宮薪能

5月4日(土)「神歌」大槻文藏 復曲能「鵜羽」大槻裕一

・篠山春日能(春日神社能舞台修理工事の為、工事終了後の9月開催)

9月22日(日) 能「羽衣」大槻文藏

・日本博事業 NOHフェスタ in 上町

10月16日(水) 第一部「翁」観世清和 第二部 能「羽衣」大槻文藏

・大阪市 春の謡会

1月18日(土) 能「船弁慶」大槻文藏・大槻裕一

1月19日(日) 能「野守」大槻裕一

・能楽座 第20回能楽座大淀町公演

3月22日(土) 能楽WS・能楽五番立

上記のように今年度も、伝統芸能の振興、文化・芸術の普及の為、公演を請負、伝統芸能に触れる機会を提供いたしました。

(4) 見学・体験教室事業

・謡曲教室事業

大阪府教職員互助組合の退職員を対象に年2回実施いたしました。

・見学・体験プログラム(能舞台見学・能楽解説・楽屋案内等)

本年は1回実施し、より一層多くの方々に能楽に触れる機会を創出いたしました。

2. 伝統芸能の振興及び普及を目的とする団体などに施設及び装束等を提供する事業

(1) 能楽堂施設の貸与

伝統芸能「能楽」の振興及び普及を図るため、これを目的とする活動を行う団体や個人（この目的に賛同するものを含む。）に対して当法人が所有する能楽堂を貸与いたしました。

能楽の公演会場として年間 57 回、稽古場としては年間 222 回、その他会議室等として 48 回貸与いたしました。また能楽の公演に限ることなく、日本の様々な芸能の祖である能の本拠地「能舞台」を使用することでそのルーツを認識し、特色を活かせる芸能活動に対して 19 回貸与いたしました。

(2) 能面・能装束及び作り物の貸与

当能楽堂が保有している能面・能装束及び作り物を、能楽を上演する主催者に貸与いたしました。

3. 大槻能楽堂改修工事

当能楽堂は昭和 10 年に設立し、建物の老朽化に伴い、昭和 58 年に大規模な改築をいたしました。その改築から早 30 年が経ち、各所・各設備が耐用年数の経過や経年劣化となり、令和元年より改修を開始いたしました。

令和元年・・・客席座席の入替工事、地下トイレのリニューアル工事

ロビーの壁面塗装工事、建物の外壁塗装工事

令和 2 年・・・1 F 多目的トイレの新設工事、空調機器更新工事、

照明設備（LED 化）工事、放送機器更新工事、

イヤホンガイドブース 3 室設置工事

令和 3 年・・・能舞台修繕工事、作り物置場整理改修工事、

映像・音響設備改修工事

今後も、世界無形文化遺産である能楽を末永く公開していく活動拠点でありたいと考え、本年も下記の改修工事を実施いたしました。

工事内容

① キュービクル及び発電機更新工事

② 1 F 鏡の間・装束部屋空調機更新工事

③ 旧喫茶コーナー展示ギャラリー改修工事

※観光拠点整備計画（文化観光充実のための国指定等文化財磨き上げ事業）

以 上

Ⅱ 理事会・評議員会

令和6年6月5日 令和6年度第1回通常理事会

開催場所 大槻能楽堂

決議事項 1、令和5年度事業報告・計算書類等及び財産目録の承認について
2、理事候補者の推薦について
3、第14回定時評議員会の招集について

報告事項 1、大槻能楽堂改修工事についてのご報告
2、職務執行報告

出席等 決議に必要な出席理事の数5名、出席9名欠席0名 監事出席2名
オブザーバー出席 顧問会計事務所出席1名 事務局出席2名

令和6年6月20日 第14回定時評議員会

開催場所 大槻能楽堂

決議事項 1、令和5年度計算書類等及び財産目録の承認について
2、理事1名の追加選任について

報告事項 1、令和5年度事業報告及びその附属明細書の内容報告について
2、大槻能楽堂改修工事について

出席等 決議に必要な出席評議員の数6名、出席10名欠席1名
監事出席1名欠席1名、理事出席 3名
オブザーバー出席 事務局出席2名

令和6年9月4日 令和6年度第2回通常理事会（決議省略によるみなし開催）

決議事項 1、令和7年度大槻能楽堂自主公演能について
2、上記提案の理事会の決議があったものとみなされる日は、
令和6年9月30日とすること

報告事項 1、大槻能楽堂改修工事について
2、職務執行報告

出席等 決議に必要な出席理事総数10名、監事総数2名全員より同意書

令和6年12月13日 令和6年度第3回通常理事会

開催場所 大槻能楽堂

決議事項 1、令和6年度中間決算について
2、令和7年度自主公演能について

報告事項 1、大槻能楽堂舞台料について
2、大槻能楽堂改修工事について
3、職務執行報告

出席等 決議に必要な出席理事の数6名、出席10名 監事出席2名
オブザーバー出席 顧問会計事務所出席1名 事務局出席2名

令和 7 年 3 月 1 0 日 令和 6 年度第 4 回通常理事会

開催場所 大槻能楽堂

決議事項 1、令和 7 年度事業計画書(案)の承認について

2、令和 7 年度収支予算書(案)の承認について

報告事項 1、公益目的事業の統合について

2、大槻能楽堂舞台料について

3、大槻能楽堂改修工事について

4、職務執行報告

出席等 決議に必要な出席理事の数 6 名、出席 9 名欠席 1 名 監事出席 2 名

オブザーバー出席 顧問会計事務所出席 1 名 事務局出席 2 名

Ⅲ 附属明細書

令和 6 年度事業報告には「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 号に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和 7 年 6 月

公益財団法人大槻能楽堂